

2022年12月

特別支援教育に関わる皆様

日本教育情報学会特別支援教育 AT 研究会

会長 金森 克浩

(帝京大学 教授)

特別支援教育 AT 研究会 2023 の開催について (案内)

特別支援教育に関心のある教員等を対象に、障害や特性に応じた学習・生活の質を高めるための支援技術(AT)やICTを活用した教育実践を交流する研究会を、各地の大学研究室や研究会と共催にて開催します。

今年度は、口頭発表とポスター発表の形態で、特別支援教育を学ぶ学生、特別支援教育に関わる教員が研究・実践の発表・交流を行います。公私ともお忙しいことと思いますが、COVID-19 感染症対策を講じながら春の京都・全国で、教員等も学生も共に学びたいと思います。

共催・後援 (予定含む)

京都ノートルダム女子大学特別支援教育 AT 研究会(太田研究室)、浜松学院大学大森研究室、広島大学氏間研究室、兵庫教育大学小川研究室、関西学院大学丹羽研究室、金沢星稜大学新谷研究室、神戸親和女子大学武富研究室、皇學館大学教育学会特別支援教育 AT 研究会(大杉研究室)、奈良学園大学中島研究室、ノートルダム清心女子大学青山研究室、大阪人間科学大学中島研究室、島根県立大学特別支援教育学研究室、島根大学伊藤研究室、帝京大学金森研究室、帝京大学大学院教職研究科爲川研究室、帝京大学水内研究室

AT-Okinawa, チャレンジキッズ研究会, DonTAC, 九州 e-AT 研究会, マジカルトイボックス, なんとカンファレンス, (一社)日本支援技術協会, 大阪支援教育コンピュータ研究会, NPO 法人支援機器普及促進協会, 東海特別支援教育カンファレンス

日時 2023年3月5日(日) 9時半~15時半

会場 京都ノートルダム女子大学 ND ホール他

京都市営地下鉄北山駅下車すぐ(〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1)

Zoom 会議室(参加確定者に開催直前にメール連絡します)

会場参加定員 100名 **遠隔参加定員** 80名(埋まり次第締め切ります)

主な内容

口頭発表 9時半~12時, 13時~15時半

卒業論文等の研究構想・成果発表

各地の特別支援学校などの教員による実践・研究交流

ポスター発表 10時~13時

卒業論文等の研究構想・成果発表

各地の特別支援学校などの教員による実践・研究交流

研究会の詳細(原稿執筆要項等)、申し込み(発表及び参加)、お問い合わせは、特別支援教育 AT 研究会 2023 で検索しサイトからお願いします。

参加申し込みについて

1次発表者申し込み

2022年12月から2023年1月28日(土)まで 特別支援教育に関わる教員や学生等対象
※ポスター発表は対面参加のみ最大50件で、口頭発表はハイブリッド形式最大50件で締め切ります。

2次参加者申し込み予定

2023年1月29日(日)から2月28日(火)まで 特別支援教育に関わる方が対象

対面会場の昼食について

大学近隣にはコンビニやレストランがありますが、昼食時間もポスターセッションを実施しますので、できるだけ弁当を注文下さい。弁当は、障害のある人が働く事業所(社会福祉法人同胞会 <https://douhounoie.jp/>)より配達いただく予定です。税込み700円の予定です。参加申し込みの際に申し込みいただき、お釣の無いように当日ご持参ください。

新型コロナウイルス感染症対策について

感染予防のため、Zoomでの遠隔会場と京都会場参加のハイブリッド型とし、会場は人数制限を行います。

会場の京都ノートルダム女子大学 ND ホールは定員260名ですが、参加者等は100名として、三密を避け万全の感染予防策を講じて実施する予定です。対面参加者には、1週間前からの体温測定と健康観察記録を当日提出いただきます。必要書類は参加申込者に事前送付します。その他、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、京都府及び京都ノートルダム女子大学の以下のサイトをご覧ください、感染予防にご協力くださいますようお願いいたします。

京都府

<https://www.pref.kyoto.jp/>

京都ノートルダム女子大学における新型コロナウイルス感染症(COVID19)対応指針

<https://www.notredame.ac.jp/news/news/covid/4450/>

本件に関する問合せ先

日本教育情報学会

特別支援教育 AT 研究会 2023 事務局

京都ノートルダム女子大学 太田研究室

otahiro@notredame.ac.jp

